



ブックカフェ京北 やってます!



12月に入り、新企画「ブックカフェ京北」がスタートしました。この企画は、京北の各地区でそれぞれジャンルを決めて、読んできた本について感想を共有したり、主催者がブックトークをすると

いうもので、現在は周山・山国・弓削・黒田の4地区で、それぞれ隔週で開催されています。黒田(テーマ:まんが)は【きくやカフェ】さんで「ドラえもん」、山国(テーマ:小説)は【ほろろん】さんで「宮沢賢治」、弓削(テーマ:教養)は【弓削自治会館】で文化や歴史に関する本を、そして周山(テーマ:まちづくり)は【ゆめハウス】さんでまちづくり系の新書を、それぞれ読んでいます。

黒田では子どもたちと一緒にわいわいしたり、山国ではイロリを囲んで語り合ったりしました。また弓削ではサイフォンで入れた珈琲を飲ん



だり、周山ではお茶菓子とともにいろんなことをしゃべりました。ここは本で勉強する場所ではありません、本はきっかけとして、普段話さないことを話したり、普段出会わない人と出会ったりする、そういう場所です。

なにやら面白そうだなと思った方、是非ご参加ください。読んでなくてもものぞきにきてください。**Facebookページ「ブックカフェ京北」**にイベントの情報が上がっています!

「実は初めて食べました」

■ぼたん鍋



え、食べたことなかったん!?!という声が聞こえてきそうです。実は僕、ぼたん鍋を食べたことがありませんでした。ずっと食べたいと思っていた中で、先日友人に京北を案内した日に、レストランけいほくですついに食べることができました!身も油もとても食べやすく、スープも最高でした。

■焼肉「登喜和(ときわ)」



遅まきながらようやく「登喜和(ときわ)」さんに行くことができました。念願のトキワmeetsトキワです。写真は「ときわ定食」。評判通りめっちゃめっちゃ美味しかったです!



今月の1冊

木下斉『稼ぐまちが地方を変える：誰も言わなかった10の鉄則』NHK出版新書2015年

この本は、高校生の時に商店街を補助金なしで活性化させた著者が、その後の失敗、海外MBAの経験、そして留学時に知ったアメリカのまちづくりの在り方を基に、日本のまちづくりに欠けているのは【きちんと利益を出す仕組みづくり】だと言い切る、

すべてのまちづくりの担い手のための指南書です。著者は本書の中で、補助金が陥りやすい罠をはっきりと指摘しており、まちの再生を握る不動産に焦点を定めて事業を起こしていく方法を紹介しています。自分たちで利益を上げることに徹底的にこだわるそのやり方は、多くの読者(もちろん僕も含めて)にとって、ある意味で目が覚めるものであると感じました。